

自然素材のプライベートブランド

Skog
スコーグ

カフェスタイルシリーズ

Cafe Style Series

Chocolate - ショコラー

〈システムキッチン〉

設置・工事説明書

目次

安全上のご注意	1
1. 工事を始められる前に	2
2. ウォールユニット(吊戸棚選択の場合)	
レンジフードの取り付け方法	4
3. ワークユニット(下部キャビネット)の取り付け方法	6
4. タイル天板の施工について(ワークトップ:タイル天板を選択の場合)	6
5. 扉の建付け調整方法	8
6. 棚板の取り付け方法(吊戸棚、キッチン扉:観音開きタイプを選択の場合)	9

安全上のご注意

必ずお客様にお渡しください

この設置・工事説明書は、お客様がキッチンを安全に使用していただくために必ず守らなければならない設置・工事上の注意事項を記載しています。設置・工事前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく、安全に据え付けてください。また、工事完了後は、別添の『取扱説明書』『保証書』とともにお客様へ渡していただき、大切に保管していただくよう、説明してください。

ここに示した注意事項は、キッチンを正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者およびキッチンを使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を[警告][注意]の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

必ずお守りください

安全上のご注意

⚠ 警告

作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後の製品の不具合によって使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

- 吊戸棚の取り付けは、建築壁の構造を確かめて、工事説明書通り確実に行ってください。使用中に取り付けネジがゆるみ、吊戸棚が落下して、ケガをする恐れがあります。
- 配線工事やガス工事は、関連する法令や規定に従って必ず「有資格者」が行ってください。接続や固定が不完全な場合は、発煙や火災、爆発の原因になり、重大事故につながる可能性があります。
- 各設置工事は、建築基準法、各都市の条例、消防法等に従ってください。

⚠ 注意

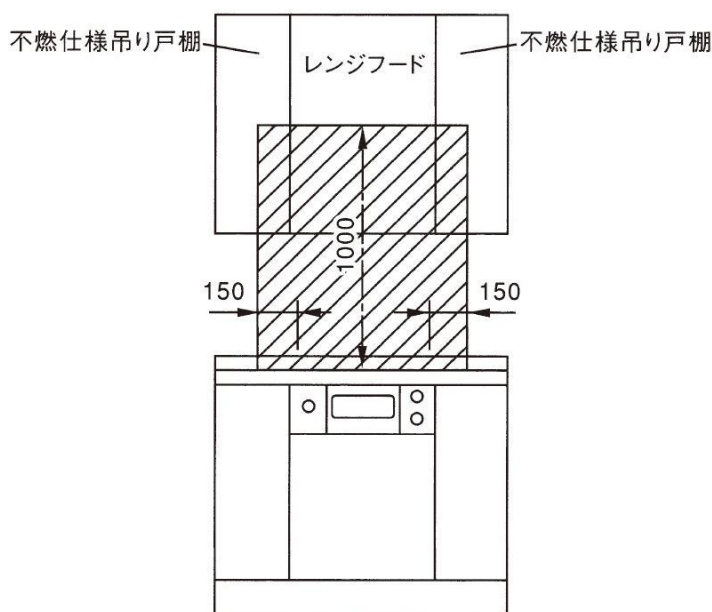
作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後の製品の不具合によって使用者が重傷を負う可能性または、物的損害のみが想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- タイルやステンレスの小口(切り口)は危険ですので、絶対に触らないでください。特に、器具開口穴、混合栓用穴、床排水穴、排水金具用穴等にご注意ください。作業の際は必ず手袋を着用し、十分注意して作業をしてください。
- 工事完了後はとびらの傾き、ガタつき、蝶番のゆるみがないことを必ず確認してください。使用中にとびらが落下して、ケガをする恐れがあります。
- 包丁差しはネジのゆるみがないかどうか、点検してください。使用中に包丁差しがはずれて、ケガをする恐れがあります。
- 排水パイプ、ホースはリ字型に曲げたり、折り曲げて取り付けしないでください。使用中に排水パイプがつまり、水があふれて床を汚す恐れがあります。また、絶対にダブルトラップにならないように、規定の水勾配を設けてください。
- 配水管の接続部は、必ずシールを行ってください。接続部に隙間があると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。
- キッチンに組み込まれる電気製品、調理機器、レンジフード、その他の機器については、それぞれの商品の工事説明書、本体の注意表示を必ずご覧いただき、正しい据え付け工事を行ってください。アースの必要な機器は必ずアース工事を行ってください。感電事故や機器の故障の原因になります。据え付け方を誤ると思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。
- 据え付け、仕上げ工事に使われる溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については容器等の注意表示に従い、正しくお使いください。誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

①工事を始められる前に

1. ウォールユニット(吊戸棚)・レンジフードの取り付け前に、次の事柄を確認してください。
 - a. レンジフードおよび手元灯の電源が来ていますか。(他に器具が付く場合はそれらの電源も)
 - b. レンジフードの排気が所定の位置まで来ていますか。
 - c. 両壁にはさまる場合は、クリアーを含めて内法寸法を確認してください。
タイル後貼りの場合には、両端のタイルの差し込み代等にも考慮してください。
 - d. 建具枠等のちりがある場合は、引き出しや扉の開閉時に当たらないかどうか、確認してください。
 2. 壁の下地および材質を確認し、道具類を用意してください。
 - a. 取り付け面はできるだけコンパネ等を貼ってもらってください。(レンジフード取り付け面は特に)
 - b. 木下地or軽量鉄骨+ボード・木質パネルの場合は、太さ4mm以上のタッピングビスを使用してください。
 - c. GLの場合は、前もって下地を入れてもらうか、もしくはハンマードリル、グリップアンカー、寸切ボルト、ワッシャー、袋ナット等を用意してください。
 3. フローアユニット(下部キャビネット)据え付け前に、次の事柄を確認してください。
 - a. 排水管が所定の位置まで来ていますか。
 - b. 配管スペースの所定の位置まで給水、給湯の配管が来ていますか。
 - c. ガス器具の場合はガス配管が配管スペースの所定の位置まで来ていますか。
 - d. ガスの種類が器具と合っていますか。
- 〈ビルトイン機器の設置について〉
- e. 食器洗浄機付きの場合は、機器に合った排水、給水(給湯)、電源が所定の位置に来ているか
機器付属の工事説明書により確認してください。
 - f. 他にビルトイン機器が付く場合はそれらの電源等も確認してください。
4. 天井および床の水平、壁の矩手(直角)が極端に悪い場合はパッキン等であらかじめ調整してください。
 5. 火災予防条例では下図の斜線内に可燃物があってはならないと規定されています。
斜線内にはいる吊戸棚やレンジフードに隣接する吊戸棚については、不燃仕様のものを設置してください。
上記以上に規制されている地域もありますので地域の条例に従ってください。



●部品箱 部材一覧表（I 型 W2550 の場合）

キッチン用部材

部品名	個数	
KITトラップ 排水口	1	
KITトラップ 本体	1	
KITトラップ フタ	1	
KITトラップ ゴミ収納カゴ	1	
KITトラップ エルボ	1	
ジャバラホース (ネジ 50A)	1	

部品名	個数	
防臭キャップ	1	
シーリングプレート	1	
天板固定用ネジ (12mm)	11	
ジョイント用 コースレットビス(25mm) キャップセット	8	
設置・工事説明書 キッチン用(本書)	1	-
取扱説明書	1	-

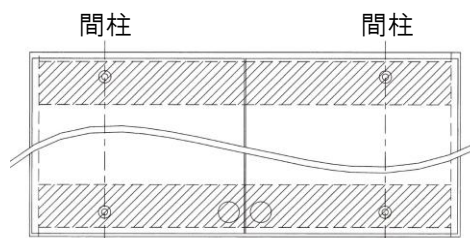
●↓部品箱の中に入っています。



②ウォールユニット(吊戸棚選択の場合)／レンジフードの取り付け方法

- ウォールユニット(吊戸棚)を梱包より取り出し、棚板・取り付けビスを外してください。
- 段取りをする際に扉を外しますと取り付けが楽になり、キズの付く心配もなくなります。
(扉の建付調整方法は8ページを参照ください)
- 壁側から順番にスキマを開けないよう、レベル、出入りに気を付けて取り付けてください。
レンジフードの取り付け穴位置に間柱が来ない場合は、間柱の位置にドリルで穴を開けて取り付けてください。
(必要に応じて吊戸棚の側板に縫い付けてください)
※レンジフード取り付け詳細は、器具付属の工事説明書を必ずご覧ください。
- 取り回しができて、持ち上げられる範囲でキャビネットを数個縫い付けますと、出入り、レベルを正確に合わせることができます。その際にビスの長さに注意してください。
※25mmのビスをご使用ください。

- 右図の斜線部分の背板の根太と柱、間柱の交点に
付属のビスをキャップセットに通して止め
化粧キャップをしてください。

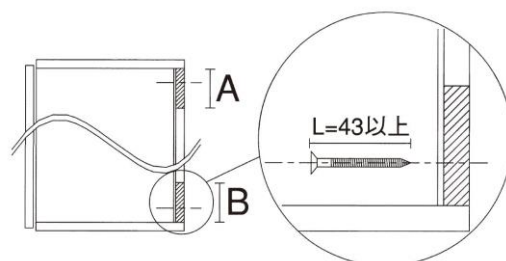


- 吊戸棚サイズに応じてビス止めの本数を守り、間隔を平均的に
開けて取り付けてください。壁下地、吊戸棚下地、取り付けビスの
荷重の分散をはかるためですので、必ず守ってください。

サイズ	必要本数
L=600まで	4本以上
L=1200まで	6本以上
L=1800まで	8本以上

- 長さ57mmのビスを付属させていますが、ボード2重貼り等で壁下地に
対する入り込みが足りない場合は別途、皿頭のタッピングビスか
木ネジを用意してください。その際、ビスは太さ4mmで長さは
壁下地材に25mm以上入り込むように用意してください。

品名	A寸法	B寸法
システムキッチン	70	70

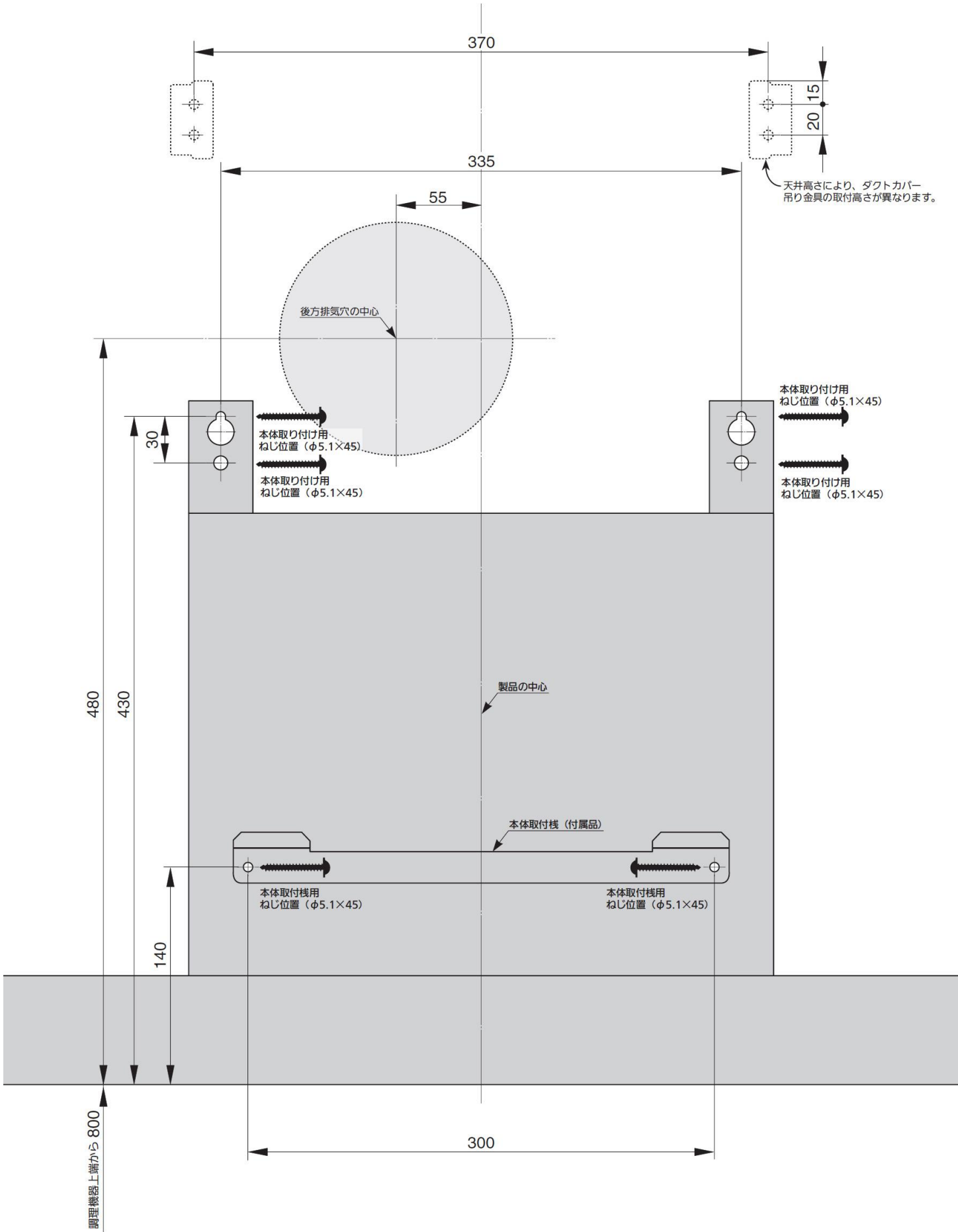


- GLなどの場合は、斜線部分の根太に、キリで穴を開け、位置出しを行ない、グリップアンカー、寸切りボルト、
ワッシャー、袋ナットなどで取り付けてください。
- 天井が仕上がっていない場合は、レンジフード正面幕板の脱着がありますので、クロスなどの厚さを考慮して
レンジフードの高さを決めてください。
- ダクト工事、電気工事が終わってから正面幕板を取り付けてください。

レンジフードの取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

●レンジフード取り付け位置図

＜レンジフード本体に施工説明書及び下図の実寸図が付属しております＞



③ワークユニット(下部キャビネット)の取り付け方法

1. フロアーキャビネットを梱包から出し、所定位置近くで順番に並べます。(引き出しも外してください)
2. 25mmのビスを用意して、蹴込み板および前面の出入りを合わせた上で縫いつけてください。
3. 水栓金具を取り付けてください。
4. ワークトップをのせてください。

[タイル天板の場合]

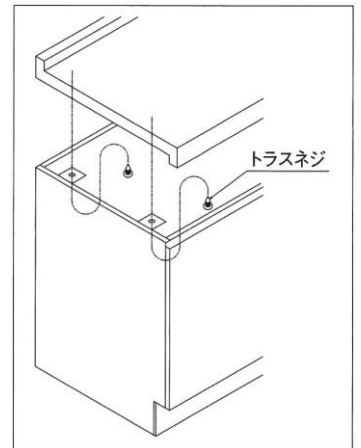
- ・防水下地合板をキャビネットの上にのせます。(タイルは後施工)

[ステンレス天板、人工大理石天板の場合]

- ・下台上部前面とシンクトップ前部当たり(チャンネル部分)を合わせてください。

※人造大理石トップの場合は当たり部分がありませんので、トップ前面をキャビネットより25mm離してください。(人造大理石トップで別図の指示がある場合はその離れに従ってください)

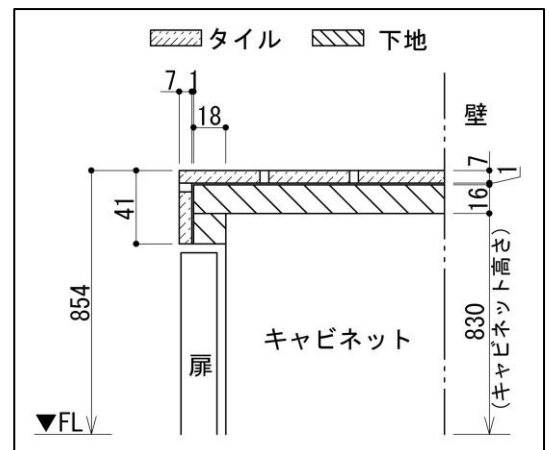
5. フロアーキャビネット全体をほぼ所定位置に置きワークトップをのせます。
6. 扉を開け、上向きに、下台のL金具の穴に付属のトラスネジを差し込み天板と縫いつけてください。
7. ワークユニット全体を所定の位置に置いてください。
8. ガス器具またはクッキングヒーターを取り付けます。
取り付けについては器具に付属している工事説明書を必ずご覧ください。
9. 棚板、引き出し等をセットしてください。
10. 各扉の建付けをスライド蝶番にて調整してください。
調整方法および取り外し・取り付け方法は、8ページを参照ください。
11. 引き出しの前板の調整方法は、8ページを参照ください。
12. 水栓金具の配管が終わってから、排水金具、ホース、回転板を取り付けてください。
13. 排水ホースを排水管に差し込む際に、十分に(15cm以上)入っていることを確認してください。
14. 排水を直管配管される場合は、アダプターを別売にて用意していますのでお求めください。
なお、アダプターはVP-40専用ですのでご注意ください。(ホースを外してアダプターをねじ込んでご使用ください)
15. 他の工事が完了するまで、ダンボール等でワークトップ他を養生してください。
16. 全ての工事が完了後、美装の際にワークトップ他の養生をはがしてください。



④タイル天板の施工について(ワークトップ:タイル天板を選択の場合)

ワークトップ合板(防水下地合板)へタイル天板を施工します。
施工については左官業者様とお打ち合わせの上行ってください。

タイル納まり例



⑤扉の建付け調整方法

●扉の調整方法(クリップヒンジ)【図①】

1. 扉の取り外し、取り付け方法レバーに指をかけ手前に引きおこすとはずれません。取り外す際は扉が落下しないようしっかり持って外してください。取付ける際は手前からかけて、レバー部分を座金に押し込んでください。完全に取り付けられると「カチッ」と音がします。

2. 扉の建付け調整方法

- a. 奥行方向の扉の浮きがある場合は**奥行方向調整ネジ①**をゆるめてスライドさせ、しっかりネジを締め付けてください。(出た分だけ対角線の角が引っ込みます)
- b. 上下方向のズレが大きい場合は**高さ方向調整ネジ②**を上下の蝶番(扉1枚分)ともゆるめてスライドさせてください。

終わりましたらしっかりネジを締め付けてください。最後に**間口方向調整ネジ③**にて微調整をしてください。

3. 調整後も木材の伸縮等で建付けのズレが生じますので、その都度、調整してください。

【図①】



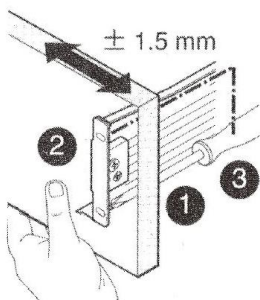
●引き出し扉の調整方法(スチール製引き出し)【図②】

1. 引き出しを外してください。(引き出しの外し方参照)
2. サイドカバーをひき外してください。
3. 間口方向調整。
4. 高さ方向調整。※ネジを外してしまわないよう注意してください。
5. 傾き調整。(ギャラリパイプ仕様扉のみ)

【図②】

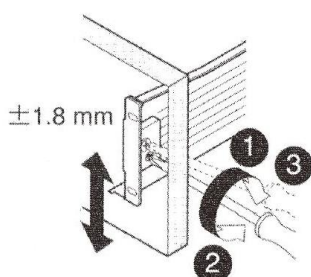


3. 間口方向調整ネジ



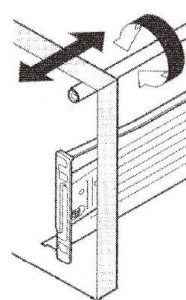
- ①. 間口方向調整ネジをゆるめる
- ②. 前板を調整する
- ③. 間口方向調整ネジを締める

4. 高さ方向調整ネジ



- ①. ネジをゆるめる
- ②. 高さ方向調整ネジをゆるめる
- ③. ネジを締める

5. 前板傾き調整ネジ



ギャラリパイプを回して調整する(左右共)

●引き出しの外し方(スチール製引き出し)【図③】

- ①引き出しを止まるところまで引き出します。
- ②引き出しを上を持ち上げながら引いてください。

【図③】



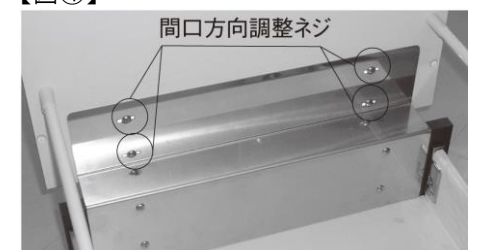
●引き出しの調整方法(台輪引き出し)【図④】

①間口方向調整

1. 間口方向調整ネジをゆるめます。(4カ所)
2. 扉を調整しネジを締めます。

※高さ方向、傾き方向の調整はスチール製引き出しと同じです。

【図④】



●引き出しの外し方(台輪引き出し)

※スチール製引き出しと同じです。

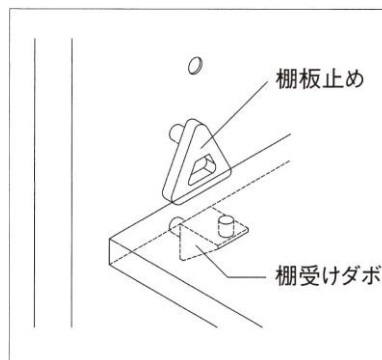
⑥棚板の取り付け方法(吊戸棚、キッチン扉：観音開きタイプを選択の場合)

使用上のご注意

- キャビネットの取り付け穴に棚受ダボを根元迄しっかり入れてください。
棚板をしっかりと棚受ダボに載せてください。収納物や棚板が落下する危険があります。

ご使用方法

- 棚板の取り付け方法(棚板止め併用棚受ダボ)
 - ①棚受ダボを取り付け穴にしっかり入れてください。
 - ②棚板を載せて棚受ダボのピンが棚受裏側の固定穴にしっかり入っているを確認してください。
 - ③棚板止めを取り付け穴にしっかり入れてください。
(棚板のはね上げ防止のため)
- 棚板の取り外し方法(棚板止め併用棚受ダボ)
取り付け方法と逆の手順で取り外してください。





vol. 1 2015 年 9 月